

# 暮らしやすい社会へ 自治体や企業取り組み

### ◆県のユニバーサルデザインに関する取り組み◆

99年4月	県庁にユニバーサルデザイン室設置 知事が本部長のユニバーサルデザイン推進本部設置
00年1月	しずおかユニバーサルデザイン・シンポジウム開催
3月	しずおかユニバーサルデザイン行動計画策定
00年度	公用封筒のUD化(視覚障害者や高齢者らへ配慮)
02年1月	第1回ユニバーサルデザイン全国大会を開催 (02年11月 横浜で第1回国際UD会議)
03年3月	アイデアヒント集「みんなが喜ぶ店づくり」作成 教員用マニュアルを発行 (03年11月 国際ユニバーサルデザイン協議会設立)
04年3月	アイデアヒント集「みんなが喜ぶ店づくり」作成
05年6月	企業や団体に専門家を派遣するアドバイザー派遣事業開始
9月	みんなに使いやすいモノ/展を開催 (06年10月 京都で第2回国際UD会議)
07年2月	市町村や企業の取り組みを紹介するUDニュースレター創刊
4月	県の印刷物に音声情報を提供するSPコードを導入
9月	富士山静岡空港ユニバーサルデザイン導入研究会を開催
08年3月	海外視察団体への説明用の多言語パンフレット作成
11月	しずおかユニバーサルデザイン国際シンポジウムを開催
09年12月	第3回国際UD会議のプレイベント・しずおかユニバーサルデザインの絆を開催

## ユニバーサルデザイン

年齢性別、能力、言語など、それぞれが持つ違いを認め合って、すべての人が使っているモノ・コト、環境を整えていくことこそが、ユニバーサルデザインの真意だ。静岡県は、ユニバーサルデザインを推進する取り組みを、県民生活のあらゆる分野に展開している。今年10月30日から浜松で開催される「国際UD会議」の開催に合わせ、今秋に3回目の国際UD会議への期待を込めて、今年10月30日から11月3日まで、アクトシティ浜松を主会場に1日以上の参加者を募る。

ユニバーサルデザイン研究第一人者である静岡文化芸術大学の古瀬敏教授(但し、国内での国際会議開催に尽力してきた)UDの取り組みへの現状と課題、今秋にある3回目の国際UD会議への期待などを聞いた。

【聞き手は静岡支局長・照山昌之】

先手を打って取り組むべきは、行政だ。民間企業は、行政の取組みで、自分たちの課題を解決する。行政は、民間企業に、自分たちの課題を解決する。行政は、民間企業に、自分たちの課題を解決する。行政は、民間企業に、自分たちの課題を解決する。

## 古瀬敏・静岡文化芸術大学教授

### 自分の問題と認識を

「ユニバーサルデザイン」は、誰もが暮らしやすい社会づくりを進めるため、様々な分野でユニバーサルデザインに取り組んでいます。身近な生活の中でユニバーサルデザインを考えるきっかけづくりとして、暮らしをよくするアイデアや、企業、団体などの推進活動を募集、表彰する「しずおかユニバーサルデザイン大賞」も、今年で10回目を迎えました。

今年度は、全体で1,500を超える応募があり、以下の通り各部門の大賞が決定しました。

静岡県では、誰もが暮らしやすい社会づくりを進めるため、様々な分野でユニバーサルデザインに取り組んでいます。身近な生活の中でユニバーサルデザインを考えるきっかけづくりとして、暮らしをよくするアイデアや、企業、団体などの推進活動を募集、表彰する「しずおかユニバーサルデザイン大賞」も、今年で10回目を迎えました。

今年度は、全体で1,500を超える応募があり、以下の通り各部門の大賞が決定しました。



インタビューに応じる静岡文化芸術大学の古瀬敏教授

## 国際UD会議 10月30日から浜松で

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指すユニバーサルデザイン(UD)の考えは、高齢化や国際化の進む日本社会にとって欠かせないもの。今年度は、国内での国際会議開催に尽力してきた古瀬敏教授が、10月30日から11月3日まで、アクトシティ浜松を主会場に1日以上の参加者を募る。今年度は、全体で1,500を超える応募があり、以下の通り各部門の大賞が決定しました。

## 富士宮市 宮バス、宮タク運行

### 民間撤退に「足」を守る

富士宮市では、民間のバス路線が撤退して、バスが運行できなくなった路線が数多くある。市は、民間企業が撤退した路線を、市営バスで運行し、市民の生活を守る。また、タクシーの運行も確保し、市民の移動を支えている。



市中心部を巡回するコミュニティバス「宮バス」＝富士宮市提供

## 色覚障害者も安心勤務

### 三色ランプで伝達工夫

色覚障害者も安心して勤務できるように、職場での伝達方法を工夫している。三色ランプを使用し、色覚障害者でも正確に情報を伝達できるようにしている。

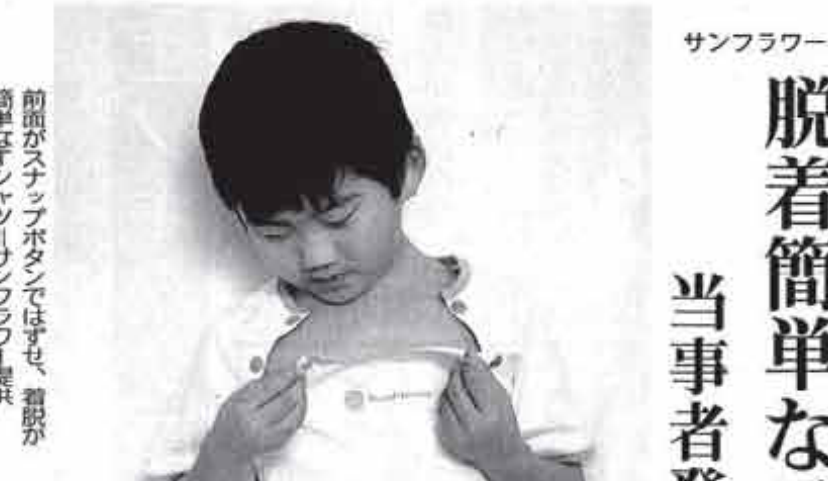


工場内で作業指示をする際に、三色ランプを使用している＝富士宮市提供

## 脱着簡単な子供服

### 当事者発想で考案

子供服の脱着を簡単にできるように考案された。当事者の発想に基づいて、脱着が簡単な子供服を開発している。



脱着が簡単な子供服を着る＝静岡市提供

## 工場内作業指示板

工場内の作業指示板を、色覚障害者でも読みやすいように工夫している。三色ランプを使用し、色覚障害者でも正確に情報を伝達できるようにしている。



工場内で作業指示板を見ながら作業している＝富士宮市提供

## しずおか ユニバーサルデザイン

### みんなの暮らしをよくする「第10回しずおかユニバーサルデザイン大賞」

アイデアを考えよう！

<h4>子どもの部 大賞</h4> <p>作品名 目と鼻と耳の時計</p> <p>提案者 鈴木 彩乃さん 静岡市立西田小学校</p> <p>作品の説明 目の不自由な人や鼻の不自由な人、耳の不自由な人など、目、鼻、耳の機能が不自由な人にとって使いやすいユニバーサルデザインです。</p>	<h4>中学生の部 大賞</h4> <p>作品名 光の信号機</p> <p>提案者 平井 公玲さん 富士市立富士中学校</p> <p>作品の説明 今、信号機を無視して渡って事故にあう人がいます。なので、信号機を見なくても、光の色だけで分かるようにしました。緑の光は横断歩道の端が分かるようにしました。</p>
<h4>一般の部 大賞</h4> <p>作品名 ALL IN ONE</p> <p>提案者 松田 優さん 静岡文化芸術大学</p> <p>作品の説明 水道のレンドルの構造を利用し、電源、音量、チャンネルの操作などの操作バーでできるデバイスです。説明がなくても触りながら理解できる操作方法は、子供から高齢者にかけて、多様な人にとって使いやすいものになっています。</p>	<h4>推進活動の部 大賞</h4> <p>受賞団体 株式会社リコー 沼津事業所</p> <p>活動の内容 「色覚の多様性」に配慮したカラーユニバーサルデザイン活動</p> <p>団体の概要 当事業所では、最近、社会的課題として顕著化している「色覚の多様性への配慮」を、事業所の方針に盛り込み、全面参加で、安心・安全・品質維持をさらに高めるためカラーユニバーサルデザイン活動に積極的に取り組んでいます。</p>

### 静岡県は ユニバーサルデザインで 誰もが暮らしやすい 地域づくりを進めています。

- ユニバーサルデザインの考え方を広めています。
- みんなが暮らしやすいまちづくりを進めています。
- みんなが使いやすいものづくりを支援しています。
- みんなが使いやすいサービスや情報を提供しています。
- 高齢者や障害のある人が自立し、共生できる社会づくりを進めています。

### 観光ユニバーサルデザインシンポジウム 参加者募集！ 熱海市で開催

高齢者や障害のある人、子育て世代、外国人など様々なニーズが生れつつあります。静岡県の観光の魅力をさらにアップさせる観光ユニバーサルデザインを考えます。

日時 2月16日(火) 13:15~16:00

場所 起雲閣(静岡県熱海市)

内容 基調講演 室井孝王氏 (ANAホールディングス 常務取締役 副社長)

パネルトークなど

定員 200名(先着順) お申し込みは下記まで